

令和 7年 4月 1日

政務活動費収支報告書

(あて先) 京田辺市議会議長

申請者 自民一新会
橋本 善之 印

京田辺市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり提出します。

[収入]

(単位:円)

科目	本年度決算額	備考
交付金	900,000円	$15,000 \times 12 \times 5 = 900,000$ (5人分)
合計	900,000円	

[支出]

(単位:円)

科目	本年度決算額	備考
調査研究費	373,732円	国土交通省・防衛省・大府市・安城市
研修費		
広報費	366,069円	会派議会だより
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	6,000円	京田辺市史資料編(第3巻・第5巻)
人件費		
事務所費	78,991円	コピー用紙・インクカートリッジ
合計	824,792円	

収支差引残額	75,208円
--------	---------

【政務活動費支出明細表】

政務活動費 支出明細表

会派名 自民一新会

令和6年度

月日	支出科目	摘要欄	支出金額
		品目名	
7/22	資料購入費	京田辺市史 資料編(第3巻・第5巻)	¥6,000
7/23	事務所費	文房具代 (インクカートリッジ代・コピー用紙代)	¥35,409
7/23	事務所費	文房具代 振込手数料	¥440
8/19	調査研究費	交通費:新幹線代(京都～東京)往復 (5名分) <u>西日本旅客鉄道株式会社</u>	¥118,200
8/20	調査研究費	交通費:電車代(新田辺～京都)往復 (5名分) <u>近畿日本鉄道株式会社</u>	¥4,900
8/20	調査研究費	交通費:電車代(東京～国会議事堂 前)往復(5名分) 東京メトロ	¥1,800
8/20	調査研究費	宿泊費(アパホテルプライド<国会議事 堂前>)	¥55,195
8/20	調査研究費	夕食代(6195円は自己負担)	¥18,805
8/21	調査研究費	昼食代	¥10,970
11/8	調査研究費	宿泊費(2/4分) (ホテルトレンド 三河安城)	¥45,440
2/3	調査研究費	視察雑費:講師の土産代 (大府市・安城市)	¥7,992
2/4	調査研究費	交通費:新田辺～京都往復 (5名分) <u>近畿日本鉄道株式会社</u>	¥4,900
2/4	調査研究費	交通費:京都～大府(5名分) <u>西日本旅客鉄道株式会社</u>	¥30,750
2/4	調査研究費	交通費:大府～三河安城 (5名分) <u>東海旅客鉄道株式会社</u>	¥1,250
2/4	調査研究費	昼食代	¥5,920
2/4	調査研究費	夕食代(6440円は自己負担)	¥21,060
2/5	調査研究費	昼食代(3040円自己負担)	¥15,000
2/5	調査研究費	交通費:三河安城～安城 (5名分) <u>東海旅客鉄道株式会社</u>	¥800
2/5	調査研究費	交通費:安城～京都 (5名分) <u>東海旅客鉄道株式会社</u>	¥30,750
2/6	広報費	会派だより 製作費・ポスティング費 (7.5円 × 26000部)	¥365,794
2/6	広報費	会派だより 振込手数料	¥275

月日	支出科目	摘要欄	支出金額
		品目名	
3/11	事務所費	文房具代(インクカートリッジ代等)	¥42,867
3/11	事務所費	文房具代 振込手数料	¥275

※政務活動における研修費にかかる報告、調査研究費にかかる視察報告、要請・陳情活動費にかかる報告書、資料購入費における資料、政務活動費を使った作成物(議会報告ビラ等)については、別途、資料も公開しております。

¥824,792

令和 6 年 9 月 20 日

(あて先) 京田辺市議会議長 河本 隆志 様

京田辺市議会
会派名 自民一新会
代表者氏名 橋本 善之

調査研究報告書

次のとおり報告します。

調査研究項目	国土交通省：新名神高速道路全線供用開始に伴う経済効果について 防衛省：我が国の国防の観点から防衛省祝園駐屯地の役割について
実施年月日	令和 6 年 8 月 20,21 日
実施場所	参議院会館 B108 会議室
参加者氏名	橋本善之、田原延行、久保典彦、榎本昂輔、國重昂平
費用	209,870 円

【講師】

国土交通省

高速道路課 課長補佐

企画課 道路経済調査室 課長補佐

環境安全・防災課 課長補佐

環境安全・防災課 構造基準第二係長



【内容】

以下の内容について、国としての考え方とレクチャーを受けた。

■ 新名神高速道路の全線供用に伴う整備効果や沿道自治体にもたらされるメリット

1. 並行する一般道の交通量推移・渋滞解消（直接効果）

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の開通により、新名神高速道路に並行する名神高速道路・中国自動車道の渋滞回数が62%減少、渋滞量が82%減少し、交通混雑が大幅に緩和された。

2. 所要時間の短縮（直接効果）

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の開通により、高槻第二JCT～神戸JCTの所要時間が7分短縮された。

3. 交通事故の減少（直接効果）

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の開通により、新名神高速道路・名神高速道路・中国自動車道の事故率は約43%減少した。
交通事故の内訳では、渋滞中の事故件数が約74%減少した。

4. 沿線住宅地の人口増加・地価上昇（間接効果）

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の開通により、沿線のニュータウンにおける人口が増加傾向にあり、平成24年～令和4年（各年4月時点）の間に箕面森町では約4.9倍、彩都では約2.2倍に増加している。

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の沿線市町では、大阪府・兵庫県全体と比較して、地価が上昇している。

5. 観光の活性化（間接効果）

新名神高速道路が整備されたことで関西圏の高速ネットワークが強化され、沿線地域の観光地へのアクセス性が向上し、観光産業への支援や地域の活性化に寄与している。

6. 企業立地の活性化（間接効果）

新名神高速道路（高槻第一JCT～神戸JCT）の沿線市町及び周辺市町では、物流施設や大規模小売店の立地が進んでいる。

平成23年～令和3年の間で、物流施設の延べ計画数は約40件、大規模小売店の延べ届出数は約120件増加している。

- 新名神高速道路城陽JCT.ICに近接した京奈和自動車道田辺北ICへのアクセス道路((都)池ノ端丸山線及び(都)大住草内線)が未整備となっており、通常の補助事業に加えて早期整備につながる補助メニューについて

1. 社会資本整備総合交付金

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として活用することができる。

2. 防災・安全交付金

防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取り組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取り組みを集中的に支援する交付金として活用できる。

【講師】

防衛省

整備計画局防衛計画課 防衛部員

地方協力局地域社会協力総括課 防衛部員

防衛政策局防衛政策課企画第一班長 防衛部員

運用部運用第2課災害派遣班 災害派遣係長 2等陸佐

参事官付災害派遣・国民保護班災害派遣・国民保護班長

【内容】

以下の内容について、国としての考え方とレクチャーを受けた。

- ① 国家安全保障戦略
- ② 国家防衛戦略
- ③ 防衛力整備計画
- ④ 陸上自衛隊祝園分屯地について
- ⑤ 災害派遣について

【議員からの主な質問】

- Q 最大の国防とは国民1人1人が我が国の置かれている状況や危機を理解することがまず大事ではないかと思うが国の考えは。
- A 指摘の部分も重要なところである。国民に対してもっと広報等の工夫を行い周知できるようにしていきたい。
- Q 祝園分屯地で新たな整備が行われる。地域の方々に常に最新の情報を共有してほしいと考えるが国の考えは。
- A 詳細の内容については公表できない部分もあるが、可能な限り行政や関係団体、地域住民に対して正しい情報を迅速に発信していきたい。
- Q 東日本大震災等の災害派遣での自衛隊の活躍には大変感謝している。もっと国民に自衛隊がどのような活動をしているのか等を発信していく必要があるのでは。
- A ホームページ等で周知しているが、中々効果的な発信ができていない場合がある。これから様々な工夫を行い、国民に必要な情報発信できるようにしていきたい。



以上

令和7年2月19日

(あて先) 京田辺市議会議長 河本 隆志 様

京田辺市議会
会派名 自民一新会
代表者氏名 橋本 善之

調査研究報告書

次のとおり報告します。

調査研究項目	大府市： 「おおぶ文化交流の杜」の視察及び設立の経緯等について 安城市： 「安祥文化のさと」の視察 安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」の視察及び 設立の経緯等について
実施年月日	令和7年2月4~5日
実施場所	おおぶ文化交流の杜・安祥文化のさと・アンフォーレ
参加者氏名	橋本善之、田原延行、久保典彦、榎本昂輔、國重昂平
費用	163,862円

【内容】

〔大府市〕

以下の内容について、おおぶ文化交流の杜事業の取り組みについて研修を行った。

- ① 事業手法の概要
- ② 施設の概要
- ③ 運営状況
- ④ その他



⑤ 現地施設見学

【議員からの主な質問】

Q 本施設の設立にあたっての基本的理念や考え方。

A 誰もが様々な知識や情報を得ることができ、質の高い文化・芸術に触れ、また自ら創造・表現活動を行い、お互いに認め合いながら交流を図ることで、「市民力」の向上に寄与し、市民が「ネクスト・ステージ」に飛躍するための場として、市民一人ひとりが誇りと愛着を持つことができる新たな文化交流のシンボル施設。「おおぶ文化交流の杜～ネクスト・ステージへの架け橋」

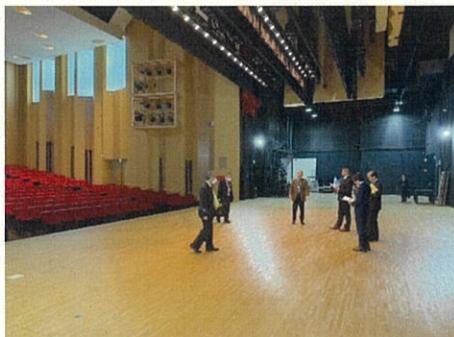


Q 具体的な事業手法は。

A コスト算出による定量評価とPFI事業として実施することの定性評価と合わせて総合的評価を行い、「PFI手法（BTO方式）」とした。

Q 計画から開館まではどのような流れか。

A 平成19年度基本計画書策定、平成22年度実施方針等公表・特定事業選定・募集要項公表・優先交渉権者選定・債務負担行為設定、平成23年度指定管理者指定・PFI事業契約・設置管理条例、平成23年度～平成25年度設計及び工事期間、平成26年度開会。



Q 年度別の来館者数の数位は。

A 令和2年度346,537人、令和3年度423,513人、令和4年度414,993人、令和5年度431,751人となっている。

〔安城市〕

以下の内容について、安祥文化のさと事業の取り組みについて研修を行った。

① 事業の経緯

② 施設の概要

③ その他

④ 現地施設見学



以下の内容について、アンフォーレ事業の取り組みについて研修を行った。

① 事業手法の概要

② 施設の概要

③ 運営状況

④ その他

⑤ 現地施設見学

【議員からの質問とそれに対する回答】

1. 設立後数年たっておられるが現状の課題について。

【回答】

アンフォーレは中心市街地拠点施設であり、中心市街地の活性化を目的としているが、アンフォーレの賑わいを、まちなかの賑わいに繋げられているかという点については課題に感じている。

2. 管理体制（市役所の中での立て付けや経営形態等）について。

【回答】

アンフォーレ南館と駐車場は、定期借地事業により民間施設として運営されている。アンフォーレ本館は、建物・設備・清掃などの維持管理をPFI事業者が行い、本館1階のホール・多目的室・広場など貸しスペースは、指定管理者が運営を行っている。本館2階から4階の図書情報館部分は、安城市が直営で運営している。

アンフォーレの目的が中心市街地の賑わい創出であることから、アンフォーレ課は図

書情報館の業務も含めて市長部局の市民生活部に所属している。

3. ホールはどのような使い方がされているか、ホールの収容人数について。

【回答】

ホールの上限の客席数は255席。コンサートやワークショップ、立食パーティーなど幅広い利用がされている。

4. PFI事業者の経営状況について。

【回答】

毎年度、PFI事業者（SPC）の損益計算書や貸借対照表の提出を受け、PFI事業のモニタリング支援契約を締結している業者に確認してもらっているが、特に問題はない。

5. 複合型公共施設内に行政の執行室を設けているのかどうか。

【回答】

本館5階に執務室を設けている。

6. 利用される市民の声と課題について。

【回答】

指定管理者が、毎年度、利用者アンケートを実施している。令和5年度のアンケート結果では、利用者から様々な要望があったが、大きな課題と言えるものはなかった。

7. 複合型公共施設事業を行って、事前に議論・企画しておけばよかったと思うことは。

【回答】

公共施設の維持管理では、市・PFI事業者・指定管理者など複数の主体が関わっていることから、各組織との連絡調整を緊密に行う必要がある。

例えば、施設修繕については、基本的に経年劣化によるものはPFI事業者が実施するが、利用者や施設運営によるものは、各施設の管理者（市または指定管理者）が実施する。

どちらともいえないケースの場合は、その都度協議して決定するが、協議が難航する場合があるので、契約や要求水準書作成時点で、可能な限り各施設管理者の役割分担をより明確にできると良かったと感じる。

8. 図書館の民間委託については、考慮されたのでしょうか。

【回答】

図書情報館についても指定管理者という議論があったが、当時の市長が指定管理者での運営をしている施設に視察した際、民間だと温かみがないと感じ直営とした経緯がある。

直営とすることでスタッフ教育を直接実施することができ、レンタルを充実させ、きめ細やかな市民サービスができるという長所がある。

9. 中心市街地拠点整備事業として実施されたが、整備に伴う道路整備費等は実施されたか。またどのような補助金が活用されているか。

【回答】

土地区画整理事業として、道路整備を実施した。(安城南明治第二土地区画整理事業)

アンフォーレ本館の建設にあたっては、国庫補助金として社会資本整備総合交付金を活用した。



以上

自民 新会活動報告

発行 京田辺市議会会派・自民一新会 • TEL.0774 (64) 1380 FAX.0774 (63) 4782

謹賀新年

謹んで新年のご慶びを申一市ます

令和七年元旦
己たはら のぶゆき
田原 延行

一昨年から物価高騰などが続き、日々の暮らしに大きくのし掛っており懸念いたしておりますが、今年は皆様にとってより良い年になりますように心からお祈りいたします。

共生社会の実現 地域コミュニティを活性化させ誰もが明るく・楽しく・元気に暮らせる共生社会となるように取り組みます。

渋滞緩和策 都市計画道路大住草内線、松井大住線の事業化及び山手幹線道路4車線化を目指し継続し取り組みます。

この街で暮らしたい 市民の安全・安心、児童・生徒の通学路の安全対策、企業誘致を促進し自主財源確保や雇用の創出、農業従事者の担い手不足など諸課題に取り組みます。

建設経済常任委員会 副委員長
枚方京田辺環境施設組合議会 副議長

▶健康ケ丘区相談役
▶大住土地区画整理組合 顧問
▶松井山手交番連絡協議会 会長
▶大住隼人舞保存会 特別顧問

はしもと よしゆき
橋本 善之

新年あけましておめでとうございます。

今年は巳年です。ヘビは脱皮を繰り返し成長することから、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年であると言われています。

「京田辺」は交通至便性と子育て環境に恵まれた都市であり、今でも人口は伸び成長を続けています。今後も次世代を担う子どもたちが暮らしやすい京田辺となるような施策は重要です。しかし、地震大国日本は京田辺も例外ではないです。いつ起こるかわからない地震に備えた対策は、行政のみならず市民一人ひとりが心得ておくことも重要です。



今年も皆様と共に安全で快適なまちづくりを進めてまいりましょう。

梅の便りはもうすぐ

会派代表幹事
議会運営委員会 委員長
総務常任委員会 委員
田辺駅前交番連絡協議会 委員

▶NPOすきなまち京田辺監事
▶NPO持続可能なまちと交通を目指す再生塾ラーニング ファシリテーター
▶一般社団法人関西模型クラブ連合会 理事長
▶都市交通政策技術者の会 会長、区画整理事、測量士

くぼ のりひこ
久保 典彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年から京田辺市議会副議長の職を務めさせていただき、その重責を自覚し、議会活動・議員活動に取組んでまいりました。地域を取り巻く環境が大きく変化する中、これまでになかった課題も浮き彫りになってきました。様々な課題の根幹にあるのは、人と人の繋がりであり、人との関係が希薄化しているといわれる地域コミュニティを改めて活性化する必要があると感じています。だからこそ地域の課題に目を向け、議員の立場として地域課題を解決するための調整役になり、行政や関係団体と密に連携することで地域を少しでも元気にしたと考えます。2025年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひいたします。

京田辺市議会 副議長
京田辺市営住宅入居者選考委員会 委員
京田辺市健康づくり推進協議会 委員
文教福祉常任委員会 委員

▶自民党京田辺支部 幹事長
▶予備自衛官
▶ボイスクワット田辺第1団育成会 会長
▶京田辺市ソフトボール連盟 理事事務局長

▶一般社団法人 山城青年会議所 役員
▶京都府スポーツアカデミー 代表取締役
▶京田辺パレーボールアカデミー 代表

えのもと こうすけ
榎本 昂輔

市民の暮らしと財産を守る市政を目指します

新年あけましておめでとうございます。

日本の人口減少が進む中、地方自治体において住民サービスを維持するためには住民の循環が必要であります。住民が循環するためには、空き家対策やコンパクトなまちづくり、そして本市の強みである交通利便性の高い立地を生かした人口戦略の実施は重要であり、特に「子育てしやすい環境整備」は注力していくべき案件です。昨年も中学校給食の実施や留守家庭児童会の宅配弁当の導入、地域子育てセンター三山木の駅近への移転など、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりました。

引き続き市民の暮らしと財産をいつまでも守り続けていくために努めます。

監査委員
総務常任委員会 委員
広報広聴特別委員会 委員

▶自由民主党 京都府支部 連合会 青年部 副部長
▶デジタル庁 デジタル推進委員
▶Executive Workers Group CEO
▶一般社団法人 全日本晴れ男・晴れ女協会 理事長

くにしげ こうへい
國重 昂平

新年あけましておめでとうございます。

不安定な社会情勢の中で、引き続き皆様からお声を頂戴し市政へと届け、一つでも多くのことを前進させられるように取り組んでまいります。

今年は、小中学校の体育館への空調設備の導入など多くの事業が予定されており、その全てが誰もが住み続けられるまちづくりの為の事業です。引き続き国府や関係機関と連携し、京田辺市の発展と私が議員を志した理由もあります「誰もが住み続けられ、住んでよかったと思えるまちづくり」の為全力で努めます。

2025年も何卒よろしくお願ひいたします。

本年が皆様にとってより良い年になりますよう心からお祈りいたします。

建設経済常任委員会 委員
決算特別委員会 委員長
環境衛生センター大碧水園運営審議会 委員

▶自由民主党京田辺支部 副幹事長
▶自由民主党 京都府支部 連合会 青年局 副幹事長
▶緑藤防犯推進委員協議会 委員

令和7年度(2025年度) 京田辺市の まちづくり政策提言を 上村市長に提出!

北部副次拠点(山手地区)



「子育てしやすく成長を続ける京田辺」そんなまち京田辺を、自民一新会は市民の皆さんと一緒に創っていきたい。10年先、20年先、もっと将来を見つめて、これから生まれてくる子どもたちのために、自民一新会は市長に対してこれからも政策提言をしてまいります。

そして、市民の皆さんのがんや地域の要望などをしっかりと聞いて市長に届け、その実現に向けて頑張っていきます。

中核拠点(田辺地区)



南部副次拠点(三山木地区)

令和7年度の重点的政策提言 (2025年度)



- ① 防災広報、防災備蓄倉庫の整備促進
- ② 防犯、詐欺被害等の対策強化
- ③ 災害時の迅速対応に向け防災無線更新
- ④ 物価高騰対策
- ⑤ 複合型公共施設整備の推進
- ⑥ 障がい者就労支援事業の充実強化
- ⑦ 大住ふれあいセンターの更なる整備改善
- ⑧ 草内こども園の整備推進
- ⑨ 竜王野外活動センターの早期リニューアル整備
- ⑩ 都市計画道路大住草内線の整備促進
- ⑪ 山手幹線等の渋滞緩和対策
- ⑫ 新西浜、田辺排水機場の整備促進
- ⑬ 中山間地域の鳥獣被害対策の強化
- ⑭ 小・中学校体育館空調設備整備促進
- ⑮ 培良中学校特色化事業促進
- ⑯ 関西万博を契機とした市の発信強化
- ⑰ 10年先、20年先を見通した学校づくりプラン策定
- ⑯ 小中学生のタブレット更新促進
- ⑯ 中学校部活の地域移行推進
- ⑯ 市役所組織のマネジメント強化

京田辺市の将来を見通した政策提言



安全で心安らぐ 優しいまち

- ・災害に強い強靭な京田辺の創造
- ・公共施設の耐震対策、長寿命化
- ・消防力の強化
- ・交通安全、防犯対策
- ・自助・共助の醸成と地域コミュニティの活性化



緑に包まれた 美しいまち

- ・開発と保全の調和のある都市の形成
- ・都市としての品格ある景観保全、整備の推進
- ・脱炭素、循環型社会形成に向けた環境施策推進
- ・農地、森林の荒廃化防止
- ・農地転用後の土地利用の適正化



いきいき健康で 明るいまち

- ・ユニバーサルデザイン政策の推進
- ・障がい者、高齢者の社会参加の推進
- ・ひきこもり支援の取り組み充実
- ・健康推進のための水辺の散策路環境整備の更なる促進
- ・シルバー人材センターの運営支援



まちづくり プラン推進

- ・人口減少時代到来を見通した行財政運営構築
- ・大学のあるまち京田辺らしさの施策推進
- ・国際感覚の醸成
- ・ふるさと納税の更なる取り組み強化
- ・補完性の原理に基づく市民と行政のパートナーシップ構築強化

里山景観(普賢寺地区)



自民一新会は、皆さんの声・地域要望をしっかり届けていきます!

令和6年8月20日 国土交通省 道路局

新名神高速道路全線供用開始に伴う 経済効果について

新名神高速道路の全線供用に伴う整備効果や
沿道自治体にもたらされるメリットと課題協議

メリット

- ・京田辺から関西国際空港、京都北部、阪神圏、名古屋圏へもほぼ1時間圏内
- ・インターチェンジ周辺では企業立地促進効果

一方で課題は

- ・田辺北インターチェンジ周辺の交通混雑緩和策として、府道八幡木津線の4車線化(松井大住線)と大住草内線の整備促進を強く要望しました。



令和6年8月21日 防衛省

- ① 国家安全保障戦略
- ② 国家防衛戦略
- ③ 防衛力整備計画
- ④ 陸上自衛隊駐屯地について
- ⑤ 災害派遣について

議員からの主な質問

Q 最大の国防とは国民1人1人が我が國の置かれている状況や危機を理解することがまず大事ではないかと思うが國の考えは。

A 指摘の部分も重要なところである。国民に対してもっと広報等の工夫を行い周知できるようにしていきたい。

Q 祝園分屯地で新たな整備が行われる。地域の方々に常に最新の情報を共有してほしいと考えるが國の考えは。

A 詳細の内容については公表できない部分もあるが、可能な限り行政や関係団体、地域住民に対して正しい情報を迅速に発信していきたい。



Q 東日本大震災等の災害派遣での自衛隊の活躍には大変感謝している。もっと東北や能登半島で災害支援された経験談を聞かせてほしい。※災害現場で活動された隊員にも会議に参加

A 国民への情報発信はもっと工夫し積極的に行いたい。自衛隊は知事の要請により損壊した道路などの早期復旧が主な任務として現地に赴くが、そこには多くの被災者が救助を求めている。自治体との情報共有、連携が最も重要である。